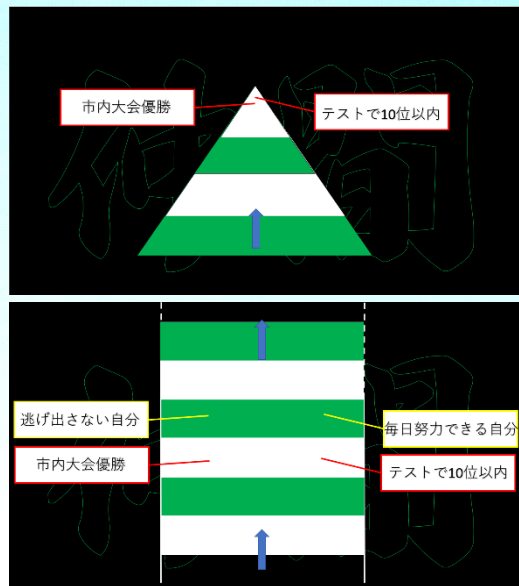


最後の水龍祭をどのように締めくくる？

4月21日(火)から「体育祭特別日課」が始まりました。いよいよ3年間の最後の「水龍祭」となります。一人一人の気持ちが学級を突き動かす原動力になっていくと思います。「どんな水アピにするか」よりもこの水龍祭を通じて「どんな学級になっていたいのか」を考えて行うことができるといいですね。

2年生の時に「目標設定の考え方」を話したのを覚えていますか？「目標」＝「ゴール」ではなく、「目標」＝「通過点」と考えられるようになることが大切です。目標へ近づいたときに「やっとゴールだ…」と考える人と「次はどんな目標にしようかな」「もっといい目標を思いついたぞ」とさらなる先のことを考えて進み続けようとする人の方がどんどん成長していくと思いませんか？そのためには日ごろから「一步先までの目標」を考えられる習慣をつけておく必要になります。オススメなのは、その目標を達成したときに「どんな人(自分)」になっていたいのか考えることだと思います。学級であれば「どんな学級」になっていたかですね。そこが決まっていれば、練習の中で「結果」だけに目が向かずに、仲間どうしに目が向き、お互いを気遣うきっかけにもなると思います。山を登ると頂上につきます。そこで見える景色は頑張った分だけ最高のものになるでしょう。そこで終わるのではなく、その頂上から次なる山を見つけて道を繋げていくことの方がもっと大切なことだと思います。今年からみんなは「受験生」になります。「高校に入ればいい」ではなく、高校に入ったとのこと、さらには高校を卒業した後のことにまで目を向けていく必要があります。「道」を決めるのは自分自身だということ、この「道」を決めるというのが卒業ということ、そしてこの「道」を決めることが「大人」へ一歩ずつ成長していくことだと思います。「保護者」は人生の先輩であり、「大人」の先輩です。もちろん「先生」たちもそうです。「道を決めてもらう存在」ではなく、「一緒に道を見つける仲間」だと思ってたくさん相談していきましょう。



話を水龍祭に戻します。4月21日(火)に「第1回プレ水龍祭」を学年で行いました。リレーでは15秒前後の中で6クラスが混在している状況で「バトンパス」の状況によって順位が入れ替わる可能性があるかなりワクワクドキドキする展開になりそうで楽しみです。長縄については、この先は全く分かりません。今年から8の字跳びではなく、長い1本の縄で学級全員で跳ぶこととなります。今の段階で記録の良い学級は、たまたま最初から少しコツをつかんでいる学級です。この先の練習で大きく変化できると思います。学級の絆が試される競技になるので、これからの成長がとても楽しみにしています。



4月22日(水)には「水アピ」の決起集会が行われました。2年生の3月に体育祭実行委員が課題曲を考え、4月から各学級の実行委員を中心に踊りを考えてきました。1年生では「旗」、2年生では「応援団」とレベルアップしてきたみんなの「水アピ」をととても楽しみにしています。実行委員が掲げたテーマは「応援」です。水アピの始まりは「応援合戦」だそうです。その原点を大切にしながら、これまでの歴史と混ざったときにどんな作品が出来上がるのかとても楽しみにしています。実行委員だけではやり遂げられないことばかりです。

そして、水龍祭は新しい学級になって最初の行事になります。それぞれの学級がこの水龍祭を終えたときに「どんな学級」になっているのかを見られることをとても楽しみにしています。